

[ 東京工業大学 2017 年前期 1 ]



次の条件 (i) (ii) をともに満たす正の整数  $N$  をすべて求めよ。

(i)  $N$  の正の約数は12個

(ii)  $N$  の正の約数を小さい方から順に並べたとき, 7番目の数は12。

ただし,  $N$  の約数には1と  $N$  も含める。



$N$  が素因数分解により  $p^a q^b r^c \cdots$  ( $p, q, r, \cdots$  は異なる素数,  $a, b, c, \cdots$  は正の整数) と表されるものとする。  $12 = 2 \cdot 6 = 3 \cdot 4 = 2 \cdot 2 \cdot 3$  であるから, 条件(i)により  $N$  は

$$N = p^{11}, pq^5, p^2q^3, pqr^2$$

という形をしている。

また, 条件(ii)により12は  $N$  の約数であり, 12の約数も  $N$  の約数になることから

1, 2, 3, 4, 6, 12の6個も  $N$  の約数である。

従って, 12が小さい方から並べて  $N$  の7番目の約数になるとき

5, 7, 8, 9, 10, 11のいずれか1つが  $N$  の約数となっていることになる。

ここで,  $N$  の約数を小さいものから順に  $d_1, d_2, d_3, \cdots, d_{12}$  とする。

約数の対称性から  $N = d_6 d_7$  であり, 条件(ii)から  $d_7 = 12$

ここで,  $d_6$  について  $6 \leq d_6 < d_7 = 12$  であるから,  $d_6 = 6, 7, 8, 9, 10, 11$  について調べる。

①  $d_6 = 6$  のとき  $N = 6 \cdot 12 = 72 = 3^2 \cdot 2^3$  となるが, 8と9が  $N$  の約数となり, 不適。

②  $d_6 = 7$  のとき  $N = 7 \cdot 12 = 84 = 3 \cdot 7 \cdot 2^2$  となり, 適する。

③  $d_6 = 8$  のとき  $N = 8 \cdot 12 = 96 = 3 \cdot 2^5$  となり, 適する。

④  $d_6 = 9$  のとき  $N = 9 \cdot 12 = 108 = 2^2 \cdot 3^3$  となり, 適する。

⑤  $d_6 = 10$  のとき  $N = 10 \cdot 12 = 120 = 2^3 \cdot 3 \cdot 5$  となり, 適さない。

⑥  $d_6 = 11$  のとき  $N = 11 \cdot 12 = 132 = 3 \cdot 11 \cdot 2^2$  となり, 適する。

以上①~⑥より, 求める  $N$  の値は 84, 96, 108, 132

[別解]

$N$  が素因数分解により  $p^a q^b r^c \cdots$  ( $p, q, r, \cdots$  は異なる素数,  $a, b, c, \cdots$  は正の整数) と表されるものとする。

$12 = 2 \cdot 6 = 3 \cdot 4 = 2 \cdot 2 \cdot 3$  であるから, 条件(i)により  $N$  は

$$N = p^{11}, pq^5, p^2q^3, pqr^2 \cdots (*)$$

という形をしている。

また, 条件(ii)により  $12$  は  $N$  の約数であり,  $12$  の約数も  $N$  の約数になることから

$1, 2, 3, 4, 6, 12$  の6個も  $N$  の約数である。

従って,  $12$  が小さい方から並べて  $N$  の7番目の約数になるとき

$5, 7, 8, 9, 10, 11$  のいずれか1つが  $N$  の約数となっていることになる。

①  $5$  が  $N$  の約数となるとき

$2$  が  $N$  の約数であることから  $10$  も  $N$  の約数になり, 不適。

②  $7$  が  $N$  の約数となるとき

$N$  は  $12 \cdot 7 = 2^2 \cdot 3 \cdot 7$  の倍数となるが, (\*) より  $N = 2^2 \cdot 3 \cdot 7 = 84$  が適する。

③  $8$  が  $N$  の約数となるとき

$N$  は  $2^3 \cdot 3$  の倍数となるが, (\*) より

$pq^5$  において  $p=3, q=2$  として得られるのは  $3 \cdot 2^5 = 96$  これは適する。

$p^2q^3$  において  $p=3, q=2$  として得られるのは  $3^2 \cdot 2^3 = 72$  これは9も約数となり不適。

④  $9$  が  $N$  の約数となるとき

$N$  は  $2^2 \cdot 3^2$  の倍数となるが, (\*) より

$p^2q^3$  において  $p=2, q=3$  として得られるのは  $2^2 \cdot 3^3 = 108$  これは適する。

$p^2q^3$  において  $p=3, q=2$  として得られるのは  $3^2 \cdot 2^3 = 72$  これは8も約数となり不適。

⑤  $10$  が  $N$  の約数となるとき

$5$  も  $N$  の約数になり, 不適。

⑥  $11$  が  $N$  の約数となるとき

$N$  は  $2^2 \cdot 3 \cdot 11$  の倍数となるが, (\*) より  $N = 2^2 \cdot 3 \cdot 11 = 132$  が適する。

以上①~⑥より, 求める  $N$  の値は  $84, 96, 108, 132$